

EDELWEISS

今年もスポーツで感動とドラマを!

JCZの新年会はオミクロンの台頭で開催を見合わせましたが、オリンピックほどの規模になると中止することへの障害の方が大きいのでしょうか、色々あった北京冬季オリンピックですが、それでもアスリートたちの織りなす本物のドラマを見たくてスポーツの祭典は続くのです。

屋外施設全てで人工雪という無理矢理感のある北京でのオリンピックでしたが、かたや雪は十分にあってのに住民投票での反対多数（といっても圧倒的ではない）で立候補を断念した我がスイスのサンモリッツやシオン（2026年冬季オリンピック）。スポーツファンはちょっと残念という気もするでしょうが、財政、そしてサステナビリティに敏感なスイス人らしい選択なのでしょう。地球の温暖化政策が停滞すると、21世紀末に冬季オリンピックを天然雪で開催できる場所は札幌だけ、という調べもあるようです。

先日朝日新聞で歴史学者のユヴァル・ノア・ハラリ氏の「絶望は否定に劣らず危険だ。そして否定と同様に間違っている」と、世界のGDPをどこまで増やすか具体的な数字を上げながら地球の温暖化は食い止められるという内容の寄稿文を読みました。意外とできそうな数字で勇気づけられます。もちろん大金ですが、世界の富の中には十分に存在する金額です。正しく分配されればいいですね。

2月17日からはスイス国内のコロナ規制もほぼ撤廃されて、春めいてきたこの季節、今年はいつにも以上に心躍ります。このままいけば、7月にはUEFA女子ユーロ2022のサッカー選手権がイギリスで、11月にはFIFAW杯がカタールで開催予定です。ビッグスポーツイベントとサステナビリティの融合がより進むことを期待しながら、日本やスイスの活躍を楽しみましょう。(KC)



Olympische Herausforderungen und Wintersport

今月のおすすめ

今月もローザンヌ国際バレエコンクール堂々2位で話題をさらったチューリッヒ在住の田中 月乃さんへのインタビュー記事をはじめ、盛りだくさんです!

2022年度の会費納入のお願い

今年度分年会費をまだお納めでない会員の方をお願いいたします。会報の発行を含め、会の活動費に使わせて抱く年会費です。2月号P7をご参照の上、速やかにお支払い頂けますようお願い申し上げます。



巻頭文

「お陰様」と「おもてなし」そこから生まれる清き明るい心持が幸福への近道であることを、我々のご先祖様たちは知っていた」 青砥 玄 (会長)

私のイチオシ、シェアします! Vol.22

「ショートトリップの勧め」 神谷タンナー未夏

古典籍スクール Vol.6

「江戸の町」 ブランド 啓子

チューリッヒの建築散歩 Vol. 25

「The Circle at Zurich Airport (チューリッヒ空港 サークル)」 ゆか ロイバー

Kette(会員の輪) Vol.156

中川 崇晴さん (チューリッヒ在住)

巻頭文

“お陰様”と“おもてなし”そこから生まれる清き明るい心持が幸福への近道であることを、我々のご先祖様たちは知っていた

青砥 玄(会長)

欧州から最近の故郷日本を見るにつけ、日本人の人間力の低下を感じてなりません。30年にわたる日本の国力低下にあっては“貧すれば鈍す”という現象まで現れており、大いに心が痛みます。人間力の低下は自らのアイデンティティーの喪失からくるのではないかなどと思いを巡らせている中で、見つけたのが、タイトルにある言葉です。日本独特な文化の発露とも目される「おもてなし」。私達には自然な行為ですが、その背景や理由を説明することは容易ではありません。その歴史的背景の説明を経営学博士で「国際派日本人養成講座」編集長の伊勢雅臣氏が国柄探訪というブログで書かれています(2019年9月)。極めて興味深い内容ですので、その一部(太字)を紹介しながら理解を深めてみたいと思います。

「おもてなしとサービスの違い」

山村明義氏の近著『日本人はなぜ外国人に「神道」を説明できないのか』で、日本のおもてなしと欧米のサービスの違いをこう述べている。

欧米のキリスト教社会の「サービス」は、「私」と「あなた」、つまり個人と個人の間をハッキリさせた上での「行為」です。一方、「おもてなし」は、「私」が「あなた」に「成りかわる」ことによって相手への好意を表す日本独自の「好意」なのです。・・・「私」と「あなた」は違う」という視点に立つのが「サービス」で、「私」と「あなた」は同じです」という視点に立つのが「おもてなし」なのです。

まず伊勢氏は2019年の当時に日本で行われたラグビーW杯を例にとり、上記のおもてなしとサービスの違いを説明していますが、これがなかなかのほどと納得させられます。コロナ禍前でしたので、感覚的にかなり昔のように感じられますが、その際の各地での歓迎ぶりを思い出してみると、来訪した相手国の国旗やチーム旗の歓迎ののぼりを町中に掲げ、スタジアムでは国歌を地元民が斉唱して迎えました。来訪した諸外国の選手や関係者は大いに感動し、海外のマスコミにも驚きをもって報道されました。このまさに相手の身に「成り代わって」相手が喜ぶことを行い、相手が喜ばば自分もまた喜ぶ、という相手との一体感が「おもてなし」の基本となっているのです。その「おもてなし」は実は日本の武道にも当てはまる重要な部分であることを次に見ていきます。

「荒魂と和魂」

観客として、遠方からやってきた外国の選手と一体感を持っておもてなしをするのは良いが、自国の選手と試合をする場合はどうなのか。試合には敵味方があり、勝敗がある。これでは相手との一体感を保てないの

ではないか、と疑問が湧くが、山村氏は名著『神道と日本人』の中で、こう説明する。

武道や神道では人間の「魂」は、その時々によって、姿かたちをかえる、とされている。人が怒ったとき、あるいは戦うときの魂が「荒魂(あらみたま)」であり、その一方で、普段の柔和な生活を送っているときの魂は、「和魂(にぎみたま)」と呼ばれる。

相手チームを迎える時は「和魂」で相手と一体となり、心を込めた「おもてなし」をするが、いざ試合になると「荒魂」を振り起こして、全力を尽くさなければならない。「闘魂」とか「敢闘精神」とか「一球入魂」などというのは、この類いであろう。しかし、神道では、勝負が終わったら「荒魂」から「和魂」に戻さねばならないと教える。

続けて伊勢氏は、引き続き山村氏の名著「神道と日本人」中での山村氏が引用している、明治神宮武道場「至誠館」の第三代館長・荒谷卓(あらや・たかし)氏の言葉を紹介しながら、「おもてなし」のあり方を説きます。

(武道の)試合が終わったあと、荒魂と和魂をちゃんと入れ替えて、それからまた協和状態に戻る。日本の武道では勝者にこそ、この精神が必要です。(スポーツなら許される)ガッツポーズが、日本の武道ではなぜ見苦しいのか、ということ、興奮を収められない人は、気鎮め(鎮魂)が出来ない、ということの意味しているからです。

(中略) 武道を突き詰めて行くと、単に相手を倒す、あるいは負かすことを考えがちですが、本当は自分が相手を包容し、調和と融合の世界にコントロール(制御)して、相手に対して事を収めて終わる——ということに尽きます。

この「調和と融合の世界」は、まさしく「おもてなし」の目指す所でもある。

日本では令和の今日でも、新年の初詣には多くの方が繰り出します。企業でも海外の支店にさえ神棚を備える所もあります。レスリングの吉田佐保里選手や、水泳の萩野公介選手、体操の内村航平選手のように神社にお参りすることもよく知られています。彼らは「金メダルをとらせて下さい」と神様に頼ったりお願いするものではありません。まず自分で「こういう目標に挑戦します」という「誓い」を立て、目標に向けて練習に励み、その結果がある程度出れば、神様に報告し「感謝」する。結果が出なくとも、努力ができる環境に生かされていることに感謝するのです。

「神社参拝のPDCA」

神社参拝の効用は、経営学で用いられる「PDCAサイクル」、つまりPlan(計画) - Do(実行) - Check(評価、問題点の把握) - Act(問題点の改善)、に通じるものがあると、伊勢氏は指摘し、これを神社参拝に当てはめて、山村氏の言葉を紹介されます。

日本人の神社での行いに置き換えてご覧になればわかることだと思いますが、「P」は目標への「祈り」や「誓い」、「D」は自

らの「努力」と「実践」、「C」は神様(上司)への「相談」と「報告」、あるいは「決済」、「A」は「改善」と「実行」による最終的な「成果」や「勝利」というわけです。

Pray: 祈り Do: 実践

Consul: 相談 Appreciate: 感謝

このように人間心理の働きを現代経営学はうまく活用していると伊勢氏は指摘します。大昔から日本人は 神社参拝をする中で賢く実践してきたわけですね。

伊勢氏は続けて以下の様に指摘しています。

「お陰様」

我々が普通、神社に参拝する時は、家内安全、無病息災、受験合格、商売繁盛など、自分の生活での「現世利益」を神様にお願ひすることがほとんどだろう。それはそれで良いし、現実に神社でも「交通安全」など各種のお守りが売られている。それは我々が自分自身の力を超えた神様がいることを信じ、神への畏敬の念を抱いているからだ。

一方、神主が祝詞(のりと)は神様に感謝することが基本だと、國學院大學神道学専攻科で祝詞(のりと)の講師を務めている金子善光宮司(神奈川県川崎市の中野島稲荷神社など七社)は教えている。「昔の祝詞を見ると、あまり願ひ事をいっていません。なぜいっていないかということ、やはり昔の日本人には「お陰様」という気持ちの方が強かったからだと思います。それは、昔は共同体全体が、「お陰様」という意識で神様に向かっていたからだと思うのです。

上記の説明を通して思うことは、「お蔭様」という感謝の気持ちこそが、現代の私たちが失いつつある“大切なもの”なのではないかという点です。この心の姿勢は、神様に対するばかりではなく、ご先祖様に対して、両親や家族、周りの知人友人に対しても同じでありましょう。そういった「お陰様」という感謝の気持ちは、人格形成に於いても大切な基盤となります。

日本は農耕民族として共同体を形成しながら、困ったときはお互い様の精神で協力して生きてきました。白川郷にある藁葺き屋根の葺き替えは、村を挙げて為され続けてきました。日本には全国で約8万5千社の神社があり、各地域に鎮守の森が存在し、そこに神様をお招きして、心を込めておもてなしをする(調和と融合の世界)という歴史的な伝統がありました。そういった出会いにおいて、人間の心は利己心から離れ、清く明るいものとなってゆきます。そのような心の姿勢を常に大切にしてきたのが、私たちのご先祖様でした。それこそが自分のみならず他人をも幸福へ導く近道であることを無意識的に認識していたのではないかと思います。そういった目に見えない大切なものを取り戻すことこそが、現代日本人の人間力の復興につながるのではないかと考えさせられた次第です。

国際派日本人養成講座ブログはこちらのQRコードからどうぞ→

(ご意見ご質問)青砥まで gen.aoto@toyota.ch



この2年間、日本への帰国のハードルは、私たちの期待を裏切り高くあげられたまま。その上、これまでずっと「ヨーロッパの中心にあって、EUのどこの国に行くにもとっても便利なスイス」で暮らしていた私たちですから、「今や四方八方塞がりの狭いスイスに閉じ込められてしまった」と思っている方々も多いのではないのでしょうか？しかし、国境に接した地域ならば、24時間以内の滞在ルールを守れば、気軽に異国情緒を楽しむことができる...ということをご存知でしたか？

ということで、私のイチオシは、パーゼルの足場にして、フランスでお食事やお買い物したりドイツの美術館を訪ねる...そんなショートトリップです。

パーゼル市内にはすでに素晴らしい美術館が目白押しですので、そこを逃す手はありません。じっくり世界的名画が鑑賞できる、優雅な大人の休日をごすなら、市立美術館(Kunstmuseum Basel)や楽器博物館(Historisches Museum Basel)、家族連れには、動く芸術のタンゲリー美術館(Museum Tinguely Basel)、オリジナル包装紙が作れる紙の博物館(Basler Papiermühle)、などがお勧めです。動物園(Zoo Basel)ももうじき春のベビーシーズンですから楽しそうです。



Vitra Design Museum

個人的には、モネの睡蓮の壁画が常設し、印象派やポスト印象派のコレクションが充実しているバイエラー財団の美術館(Fondation Beyeler)は、まだいらしたことがない方にはイチオシです。

さて、バイエラー財団美術館はパーゼルの郊外のRiehenという場所にありますが、この横の道を更に進んですぐを左折、Rheinの支流Wiese川を越えると、その先には(ほぼいつも無人の)国境があります。



私のイチオシ、シェアします！
STADT, BERG ODER INSEL?

ショートトリップの勧め
神谷 タンナー 未夏

さらにこれも超えて、Riehenから車でたったの10分で、ドイツの最南西の町Weil am Rheinにあるもう一つのイチオシ「ヴィトラデザインミュージアム(Vitra Design Museum)」に到着です。毎日12時から17時までのみ開園です。

このミュージアムはスイスに本社のある家具メーカー、ヴィトラ(Vitra)の工場敷地内にあり、ヴィトラ社が所有するデザイナーズ家具や照明器具などが膨大な数展示されている、世界指折りのデザインミュージアムです。家具の歴史も感じ取ることができます。個性的・芸術的・歴史的IKEAのショールームのような感じ...と言えなくもありませんが。キャンパスと呼ばれる敷地内には、フランク・ゲーリー、安藤忠雄、ザハ・ハジド、アルヴァロ・シザ、ジャン・ブルーヴェ、バックムンスター・フラワー、ヘルツォーク&ド・ムーロンなど、世界的建築家の作品が一堂に会していますのでお散歩も充実です。

このVitra Campusをさらに車で進みRhein川を超えて10分ほど進むと、フランスの小さな可愛い町Saint Louisに到着です。地方の大都市ゆえのお手頃な価格で本格フレンチが楽



Vitra Design Museum

しめるレストランもありますし、パン屋さん、ケーキ屋さんで目移ろいすること確定。お車でいらしているのなら、少し郊外のカルフルなど大きなスーパーに寄りましょう。楽しいこと請け合いです(但し免税以上のお買い物は申告が必要です)。

公共交通機関を使う場合は恐らくかなり時間がかかると思います。またフランスもドイツも、スイス以上に美術館などの入館時の2Gチェックは厳しく、FFP2マスクしか認めていない場合が多いのでご注意ください。

編集部注：今号作成中にさまざまなコロナ規制が解除され、旅行の縛りも一旦無くなりましたが、いつでもできる日帰り旅行ということで、どうぞご参考になさってください。

【今回ご紹介した博物館や美術館】

- Kunstmuseum Basel**
kunstmuseumbasel.ch
- Historisches Museum Basel**
www.hmb.ch
- Museum Tinguely**
www.tinguely.ch
- Basler Papiermühle**
www.papiermuseum.ch
- Zoo Basel** www.zoobasel.ch
- Vitra Design Museum**
www.vitra.com
- Fondation Beyeler**
www.fondationbeyeler.ch

【在スイス日本国大使館からのお知らせ】

(1) 領事出張サービス

3月なし。4月23日(土)
チューリッヒ日本人学校 (予定)

(2) 受付時間変更と予約制継続

詳細は大使館HPにてご覧ください。

(3) 医療相談・精神カウンセリング

外務省で実施する、全世界の在留邦人の方々を対象にした無料オンラインの医療相談・精神カウンセリングサービスです。

期間：3月31日まで、24時間対応

対象者：在留邦人

海外に居住中、または一時滞在中の日本国籍者及びその家族(一親等内かつ一親等内であれば外国人も含みます)が対象。

費用：無料

利用方法：事前予約制

希望の方はホームページ、又はQRコードからどうぞ。
https://doctorfellow.net/
MOFA



お問い合わせ先

当サービスに関するご質問については、本事業の受注者であるメディフェロー社にて受け付けておりますので、下記メールアドレスまでお問い合わせください。
株式会社Medifellow
https://doctorfellow.net
dr-fellow-contact@medifellow.jp



現在申し込みが殺到して、待ち時間が発生しているようです。(編集部)

『江戸』とはどんな町？

2. 江戸の人口

さて、これまで寺子屋を通して江戸時代を垣間見てきましたが、そもそも江戸とは一体全体どんな町だったのでしょうか？

徳川吉宗による日本で初めての全国的な人口調査1721年(享保6)で、江戸の人口は501,394人、これは町奉行の管轄のため、武家や寺社人、出稼人の数は含まれません。武家約50万人、寺社その他約10万人を町方約50万人に加えてみますと、合計約110万人になります。当時ヨーロッパ第一の都市ロンドンの人口が約70万人、パリが約50万人、ウィーンが約25万人ですから、江戸は世界最大の都市だったと言えます。ただ、江戸は圧倒的に男性が多かったのです。享保6年の人口調査では、町方だけで、男性約32万3千人に対し、女性は約17万8千人でした。つまり男女比はほぼ2対1。これは、当初諸国から職を求めて江戸に流入してきたのはほとんどが男性、また参勤交代でたくさんの武士が単身赴任してきたのが理由とされています。江戸後期にはこの男女比は解消しました。

1. 花のお江戸の誕生

1590年、天下人である豊臣秀吉から関東への国替えを命じられた徳川家康。本拠地候補には、すでに都市として完成していた小田原や鎌倉もありましたが、辺鄙な田舎町でしかなかった江戸を選びました。当時の江戸は政治・経済の中心である京大阪からはるかに離れ、茅葺の民家が点在する寒村・寒漁村で葦の生い茂る低湿地帯がどこまでも広がる未開の地だったのです。



江戸時代の火消し
@江戸ガイド edo-g.com

1600年関ヶ原の戦いに勝利すると、家康は先ず江戸を全国政治・経済・文化の中心地にするための本格的都市計画事業「天下普請」に取り掛かります。全国の大名に諸工事「御手伝普請」を賦課し、おもに西日本の大名に対しては、千石夫といって所領千石につき工夫10人の労役供出を課しました。そして神山を掘り崩し砂洲や干潟等の低湿地を埋め立てて、広大な市街地を造成したのです。また城郭拡充用の水路を東に延長して日本橋川を開き、日本橋を架けました。そしてここを五街道の起点としました。町人は下町に、武士は山手、神社は周辺に移転という大まかな棲み分けも出来、1640年頃までに江戸は天下の城下町としての初期整備を終えました。

3. 江戸っ子

江戸っ子は、一般的に「物事にこだわらず、金ばなれがよく、意地と張りりとを本領とし、正義感は強いが、反面けんかっ早く軽率」とされています。戯作者である山東京伝(紛らわしい名前です)の天明7年(1787)の洒落本「通言総籙」(つうげんそうまがき)は、新吉原の遊郭で通(つう)の世界を事細かく述べたベストセラーです。「通言」とは廓(くるわ)言葉、籙とは遊女屋の格子戸のことですが、高級品が大好きな京伝はここで本領を發揮して江戸っ子を江戸高級ブランド(強いて言えばスノブ)に飾り立てて定義しています。このころ洒落本と時を同じくしてウィットに富んだ川柳も生まれました。

俳風柳樽(川柳集)

*江戸者のうまれそこない 金を貯め

*江戸っ子は 五月の鯉の ふきながし



江戸っ子については、別号で扱う予定の「競い合う文化」の中でまたお話ししましょう。

江戸は堅固な江戸城のもと、最初は軍事優先的な都市の性格を持っていましたが、1657年の「明暦の大火」がきっかけとなって防災都市へと、構造的な転換を遂げたのです。この2日間にわたる大火で江戸の街の約7割が焼失し、十万人以上の犠牲者が出ました。そこで大火の教訓を生かし、江戸城周辺の武家屋敷や寺院の配置移動、市内各所に火災の延焼防止のための広小路、火除明地、火除堤などを設け、道路の拡張整備、隅田川への両国橋(全長171m)架橋など、整備は思い切ったものでした。

雑学 IN PO

スイスの大統領

スイスはいつの間にか大統領が変わっている...というか、スイス在住の外国人には、よほど注意していないと誰が大統領なのかもわからない程です。それは大統領選挙もなく、現存の7人の内閣の中から

順番に任期一年で選ばれるという質の立場だからです。7人の中で今まで大統領をやったことない人、もし全員していたら、最近やっていない人が、そして傾向としては前年の副大統領がそのまま昇格するようです。7人の閣僚はそれぞれ担当大臣としての仕事があり、大統領もその担当の仕事をしつつ、言ってみれば閣僚グループの代表を1年間務めるといことです。つまり任期中に大統領としてのレガシーを築いたりということは無縁だし、自己アピールにしても権力を手に入れるような結果にもつながりません。

今年のスイスを引っ張っていく閣僚7人+1をご紹介します。まず大統領には昨年副大統領であったテシン出身(写真でもテシンに立っている)のIgnazio Cassis氏(外相)が就任しました。そこから写真時計回りで、Viola Amherd氏は国防・スポーツ相、昨年大統領だったGuy Parmelin氏は経済・調査研究相、コロナですっかり顔馴染みとなった、強烈なフランス語訛りでペラペラとドイツ語を操るAlain Berset氏は内相且つ副大統領を兼任です。2020年に大統領を務め、同年の米フォーブス誌で「世界で最も影響力のある女性100人」の中の56位に選ばれたSimonetta Sommaruga氏は、2019年以来環境・交通・エネルギー・通信大臣です。そして内閣官房長官と言ってもいいと思いますが、Bundeskanzlerと呼ばれるWalter Thurnherr氏。Ueli Maurer氏は財務相そしてKarin Keller-Sutter氏は法務・警察相。お見知り置きを! (KC)



新刊のお知らせ「アルプスでこぼこ合唱団」長坂 道子さん

チューリッヒにお住まいのエッセイストでJCZ会員でいらっしゃる長坂道子さんは、パリに長かったこともありフランス語はペラペラ、ロンドンにもアメリカにも居住経験ありで英語もペラペラ。この語学力を持ってすれば、大方の場所ではあまり困ることはないと思いきや...、実はこの地スイスでかなり戸惑っていたのですよ。ジュネーブ在住時期も含めてもう20年になるというスイス生活で、十把一絡げな見方は好きではないと言いつつも、どうしても感じてしまうスイス人気質。スイスドイツ語も手伝ってチューリッヒでの生活が正直「苦痛」だったということをお、先日出版記念として行われた朗読会で告白なさっていました。そんな苦意思識の中でこのエッセイも、自分から書こうと思ったわけではなく、「スイスの合唱団という舞台」で書いてみたらという、編集者からの思いがけない提案だったので。混声合唱団に入って4年。スイス人気質の壁・言葉の壁を意識しながら、コロナという未知の時空を手探りで進みながら、周囲のスイス人たちを観察し、でも第3者として傍観しているだけでは済まされず、「スイス合唱団という小宇宙」の中で、その構成要素の一つとしての自分の居場所を、ほんの僅かではあるけれども掴みかけた実感を、慈しむ様子が読むにつれて伝わってきます。「合唱団に入ったことが、チューリッヒ生活の空気の流れを変えたキーマンになっていきます」とキツパリ言い切る姿は、自分の苦手と向き合って、それを克服しつつあるという気配への明るい兆しで溢れ、同席した私たちもその希望の空気に洗礼を受けた、というところでイベント終了。きっと読者の方にもごでの生活に向き合うためのヒントが見つかります。(KC)※書籍ご購入は直接、長坂さん宛てにメールお申し込みください。mjnagasaka@gmail.com



アルプスでこぼこ合唱団
角川書店単行本
(167フラン+送料)



SPECIAL INTERVIEW

Q 何歳からバレエを？

近所のバレエ教室で4歳から始めました。トウシューズを履き始めた丁度10年前にこのコンクールで1位をとった菅井円加さんを観て、彼女に憧れ、ローザンヌの舞台に立つことを夢見ていました。うまくいかなくて落ち込むこともありましたが、でもやめようと思ったことは一度もありません。

Q 何が難しいですか？

やっぱり精神的なことです。技術面のコントロールの方は努力をすれば大体のことはできると思っています。それがうまくいかない時というのは、身体ができないのでは

<田中月乃さんに独占インタビュー> 2022年ローザンヌ国際バレエコンクール2位、おめでとう！

バレエダンサーを目指す若者が一様に夢見る、プロへの登竜門とされるローザンヌの国際バレエコンクール。最終選考に残った20人のファイナリストの中で、今年2位に輝いたのは、17歳の田中月乃さんでした（因みに1位は歩いているだけですごいオーラが…”月乃談・笑”というDarrion Sellman君）。日本の高校の通信教育を受けながら、2020年8月からチューリッヒ・ダンス・アカデミーで学んでいらっしゃいます。可憐とか妖精という言葉がまさにピッタリな舞台でのお姿とはまた違って、インタビュー当日のスッキリ締まったレギンズにonのスニーカーで軽快に歩きながら関西アクセントで喋る素の姿は、元気な若者そのもの。チューリッヒでは3人のお子さんがいるスイス人ホストファミリーのお宅で生活をしていて、ホストパパはなんとスイス料理レストランのオーナーシェフなのだそう。

なくて、精神的面が邪魔をしているんだと思います。心身ともに練習を通して鍛えて克服していくしかありません。

Q 好き以外で、何が自分をここまで伸ばしてくれたと思いますか？

練習は人より好きな方だと思いますが、それでしょうか。地道に努力をできなかった事ができるようになった時の嬉しさ、それが次のステップへの大きな原動力になって繋がってきたかなと…。

Q コンクールではジゼルを踊りましたね。

先生方が私に良いと勧めてください、自分でもいつか踊ってみたいと思ってはいたので。好きな作品はと聞かれると、眠れる森の美女です。日本にいるときから結構踊っていて、やればやるほどにのめり込んで行く感じです。

Q バレリーナの食事は？

恐らく以前ほど厳しい食事制限ではなくなってきたのかなとおもいます。もちろん体重管理はしますが、1日身体を動かせば「あ～お腹すいた」となりますし、甘

いものだってちょっとは食べます。でも上手に調整をする事が大事です。ローザンヌでもヘルストークというのがあって、きちんと食べることを勉強しました。私は朝と夜逆転したような食事で、朝ごはんは例えばZürcher geschnitzeltes mit Röstiの様なものをホストパパが冷蔵庫に入れておいてくれるので、それをガッツリ食べて1日を始めます。スイス料理は大好き。

17歳にしてここまで成し遂げるだけのことはある、落ち着いてしっかりした受け答えには恐れ入ります。本来3年間のコースですが、まだ1年半の段階で既に充分な実力を備えていることを証明し



てしまった月乃さん。バレエ団からのお誘いもかき始め、この夏で学校を卒業し、いよいよバレリーナとしての人生が始まるという、それはそれは希望のイオンがキラキラと降り注ぐインタビューとなりました。今後のご活躍を祈って…。(KC)

ベートーヴェン・ヴァイオリンとピアノのためのソナタ全曲演奏シリーズ～最終回Vol.3のお知らせ～

スイスでは日本人の音楽家が多く活躍です。JCZの会員であるヴァイオリニストの坪井悠佳さんとピアニストの大橋雅子さんも、ご自身の仕事あり、それぞれが双子の女の子ちゃんの子育て真っ最中という充実人生で大忙しの中にいながら、仲間と一緒に演奏を楽しみつつ、多くの人に音楽の喜びを届けたいと、演奏活動をしています。チューリッヒではとても有名ですが、地道に活動を続ける音楽家のパトロンとして、コロナ禍であっても、対策を施しご自宅を開放してコンサートの場を精力的に提供なさっているRichard Irniger氏のサロンで、昨年9月と第2回11月までの演奏会でベートーヴェンが残したヴァイオリンとピアノのためのソナタ全10曲のうち6曲までを演奏済み。そして今回の最終回では冬時間に別れを告げるこの季節にぴったりのスプリングソナタを含む、4、5、6、7番を披露して下さい。コロナの人数制限で定員以上のお客様が集まり、過去2回共一晩に2度の熱演という人気ぶりです。トラム5/6番の停留所Kirche Flunternから歩いて数分の閑静な住宅街にあるお屋敷でのサロンコンサート、演奏後にIrniger氏がアペロまで用意して下さい、彼自身が長年音楽に携わってきた喜びを、大事に、そして惜しげなく、音楽家にも聴衆にも与えてくださるその姿勢にも心温まり、頭が下がります。*2月17日から人数制限は撤廃となりました。マスクの着用は任意ですがお勧めとのことです。(KC)



演奏：ピアノ 大橋雅子
ヴァイオリン 坪井悠佳

日時：3月26日(土) 17時
会場：イルニガール
Schneckenmannstrasse
8, 8044 Zürich
入場料：無料(Kollekte)
アペロ、完全予約制
お申し込み：メールでお申し込みください。
大橋さくら
dklmce0511@gmail.com

音楽ジャーナリスト・中東生さんの「オペラ鑑賞の手引き」に参加して

この度、JCZの企画で中東生さんのオペラヴァチャルツアー、モーツァルト作曲『フィガロの結婚』に参加させて頂きました。当日解説して頂くためのエクサン・プロヴァンス音楽祭のビデオにQRコードでアクセス出来るように2月号の会報上で用意して下さい、ワクワクしながら当日を迎えました。ユーモア溢れる演出にびっくりし、また、世界を飛び回って活躍する歌手たちの飾らない素顔についてのエピソードに大笑いしながら、美しい音楽を楽しみました。この作品が生まれる背景も興味深く、古典的な美しい演出だけではなく、オペラという総合芸術が生き続けるために演出家の斬新な切り口で上演されることの意義についてのお話も、とても興味深かったです。チューリッヒには、世界に誇るオペラハウスがあり、これを機にまた感動を味わうためには是非足を運びたいと思いました。次回のバーチャルツアーも楽しみます！(M.I)

【編集部より】
チューリッヒ歌劇場では今年6/7月にフィガロの結婚を上演します。異なった演出家による舞台を観るのも楽しいのでは？ www.opernhaus.ch

このコロナ真只中の昨年、夏と冬に2度も日本へ一時帰国する機会があった。PCRテストを空港で受けた折、チューリッヒ空港に隣接するサークルの建物*にも立ち寄った。日本人建築家である山本理顕氏の事務所が、スイスで最大級の建築プロジェクトである国際コンペ*に優勝して地元の新聞を賑わせたのは2010年の3月。私はその少し前から山本氏のスイス事務所勤務していたこともあり、コンペの時期を含めてサークルのプロジェクトには合計3年ほど関わった。その頃事務所毎目目していた大きな白い建築模型が建物となって実際に目の前にそびえ立つプロセスを、転職後も時折、元同僚のおかげで見ることができた。今回はそんな自分にとっても特別なサークルの建物を紹介したい。

サークルの建物をまだ見たことがないという方は、Zürich Oerikon駅からトラム10番が768番のZürich Flughafen行きバスに乗ってみればどうだろうか。このルートだと少し時間はかかるが、空港バスターミナルに直接着くので、サークルの非常に長いガラス曲面ファサードを地上からたっぶり眺めることができる。鉄道を利用する場合は、チューリッヒ中央駅から列車で10分もすれば、空港の地下駅に到着。列車のプラットフォームからエスカレーターで登って、まずはCheck-in 3のカウンターのある地下ホール (Level 01) に出る。ここで今日出発する飛行機のスケジュールをチェックした後 (自分が飛ばなくても思わず見してしまう)、Bus TerminalとThe Circleの矢印を頼りに、さらに長いエスカレーターを二つ登ると、羽ばたく鳥のような形をしたバスターミナルの黒い大屋根の向こうに、サークルのガラスの巨大な曲面ファサードが前屈みにせり出しているが見える。トラム駅と線路を渡って幅広のトンネルに入ると、案内図と大きな広告スクリーンがあって、それを抜けるとガラスの大屋根に覆われたサークルの中央広場 (Hauptplatz) に出てくる。

サークルの建物は、写真や地図上で見ると緑の丘を囲んでゆるい円を描く高速道路に沿った大きな三日月の形をしており、その真ん中の広場を中心に南北、東西に二つの道が交差して、三日月型の内側、つまり丘に向かう側には、ランダムにピクセルのように配置されたいくつもの四角い建物が都市のように見える不思議な建物群である。この施設は大きく7つのエリアに分かれていて、2つのホテルとそれに併設する会議場**、デパート、



The Circle at Zurich Airport (チューリッヒ空港 サークル)

カフェやレストランと各種店舗、病院***、フィットネスセンター、今流行りのCo-workingスペース****と各種企業のオフィスが入る巨大複合建築である。山本氏がコンセプトを作る段階で、チューリッヒのNiederdorfの旧市街をはじめ、いくつかのスイスの都市を見て、古い中世の街を現代のニーズに合わせてフレキシブルに利用する例に感心していたシーンを思い出す。コンペ主催者である空港側の要求の一つであったスイスらしさ (Swissness) を、スイスの時計産業やこの国の人々の気質、革新的な技術やデザインの発達などを見て、それは緻密さだと理解し、彼特有の建築言語でサークルにその思いを設計していった。サークルの施設全体は、まるで京都の町屋の格子戸にも見える細長い窓とコンクリートの柱が並ぶファサードを、白っぽいシルバーに光るアルミニウムで覆ったデザインである。このデザインシステムがこの建築全体にその幅を変えながら貫かれていることが、統一感を与える。丘側に面した建物群はランダムに配置されているので、サークル内の入り組んだ道は、さながら中世の街を歩いているような気になる。どのぐらいいの中道 (Platz広場やGasse路地) を作れば人間は心地良いと感じるかなどの実地調査を繰り返して設計していたことを思い出す。偶然に思える建物の配置や通りや入り組んだ路地の計画にも、実は気の遠くなるような作業と山本氏の深い考えや経験に基づいている。このサークルを一つの都市のように設計した彼の建築案が、当時コンペの最終選考に残った世界中有数の5つの建築事務所が提出したどれも奇抜な建築案の中で、一際目立って選ばれた理由の一つである。

さてここで、文字通り型破りのサークルの建物を少し数字で見よう。敷地面積約35'000m²、用途面積180'000m²、約6'000人が働ける70'000m²のオフィススペース。エレベーター87台、地下2層の520台の駐車場と搬入路、建物は地上10階建。正面の曲面ファサードは一番上の10階では13.5mほど前面に傾く。屋上に1'871台あるソー

ラーパネルが年間約562'796kWh発電可能で、これは160件分の一戸建ての年間電力消費量を賄える量である。そして総工費約1'250億円*****。

サークル内の道を散策して、お店やカフェをのぞいた後、中央広場から階段を登って丘側に出ると、小さな銀色のケーブルカーが止まっているの見える。自動運転のこの乗り物で丘を登ってから、丘の頂上まで歩けば、Himmelsplattform (天国のプラットフォーム) と名付けられた丸い石版がある広場に出る。夏の時期にはこの石版の間に非常に細かい噴水が吹き上がって、雲のように見える仕掛けになっている。このサークルで囲まれた丘一帯を設計したStudio Vulkan*****もスイスでは有名なランドスケープの事務所。この場所は夕刻に、若いカップルや友達同士でプラットフォームの端に腰掛けて、美しい夕日とサークルの建物を背景に飛行機の発着を眺めるのに、最高の場所に仕上がっている。写真 © 2013 Yuka Räuber

- * The Circle Flughafen Zurich プロジェクトは、2009年に国際建築コンペティションとして世界中から93社余りの事務所が応募し、一次書類選考で15社に絞られて各建築案を競い、2次選考でさらに5社に絞られた。Zaha Hadid(UK)、Asymptote(US)、Xaveer De Geyter(Belgien)、Dürig(CH)と山本理顕設計工場の5社がそれから半年間、施工側の空港とワークショップをして再度案を詰めて競い、最終案として山本案が勝利した。
yamamoto-rikenarchitects.co.jp.
flughafen-zurich.ch
- ** Hyatt RegencyとHyatt Placeの二つのホテルが入る。コンクリートの白い柱が斜めに高い天井へと伸びて、広い四角い空間が上に行くほどだんだん狭まって、それを天井まで伸びる無数の白いコンクリートの柱で強調する空間構成は圧巻で、まるで教会のような静謐な空間を形作っている。hyatt.com
- *** メディカルセンターとしてチューリッヒ大学病院 (USZ) がサークル内にある。海外からの集客も脱んで、350人もの医療従事者が毎日約千人の患者を診療可能。usz.ch
- **** オフィス用の設備が整っていて、時間や週、月極などで自由にプランが選べるスペース。事務所を持たない個人企業などが、アドレスやメールサービスを受けることもできる。詳しくはspacesworks.com
スイスフランでは約1 Billion CHF.
- ***** thecircle.ch
***** チューリッヒで活躍するランドスケープ事務所。studiovulkan.ch



JCZ事務局からのお知らせ

AFTER
NOON
CAFE

アフタヌーンカフェ

春の兆しを感じられる今日この頃です。カフェに集まっておしゃべりしませんか? 14時からのケーキセットもお得です。

日時: 3月10日(木)14:00~16:00

場所: Jelmoli 3F レストラン

Seidengasse 1, 8001 Zürich

申込: JCZ HPイベント申込フォームより

またはメールにて、kikaku@japanswiss.ch
ご参加お待ちしております。

ドイツ語サポートサービス

日頃ドイツ語が分からなくて困っていることはありませんか? JCZではそういった方々のサポートを行なっています。ご利用になりたい方は、いつでもメールでご相談ください。サポートの内容にもよりますが、10フラン程度を寄付という形でお願ひしています。

申込先: JCZ事務局

メール: jcz@japanswiss.ch

Grüezi mit... 今月のスイスドイツ語講座

3月28日(日)から夏時間が始まり、日本との時差は7時間となります。スイス人でさえも年に2回春と秋に起こるこの時間調整に混乱をきたすようです。ではどうやって覚えるのか? 街のレストランの様子になぞらえた例を参考にしましょう。



Im Frühjahr kommen die Stühle vordie Beiz, im Herbst stellt man sie wieder zurück.

春にはレストランで椅子を店の前に出し、秋になるとまた中に戻す。

前に(vor)の時は時計の針を進め、戻す(zurück)の時には7時から6時へ針を戻せばいいのです。(KC)

3月JCZ企画

The Circle at Zurich Airport ガイドツアーのお知らせ

今月号P6ページのロイバーユカさんの建築散歩で紹介されているサークルの見学会のご案内です。チューリッヒ国際空港に隣接する広大な敷地に建つ複合商業施設ですが、国際コンペで日本人の建築家、山本理顕氏の率いる山本理顕設計工場の提出案が選ばれたのが2010年の3月。それから約10年の歳月を経て、2020年11月に竣工しました。このプロジェクトにも関わった建築家のロイバーユカさん直々のご案内で回ってみませんか。今回は通常の見学コースには入っていないハイアット・リージェンシー・ホテル内も、ロイバーさんの計らいで特別に見学させていただきます。

日時: 3月11日(金) 13時~15時

集合時間: 12時半

集合場所: 空港バス乗り場からのサークル連絡通路入口、サークル案内板前(ロイバーさんから概要の説明)

定員: 20名

参加費: 無料(非会員/20フラン)

申込み: 3月9日まで、HPのイベント申込フォーム、またはメールでお申し込みください。kikaku@japanswiss.ch



第4日曜日 定例ハイキング

1月23日、ハイキングに参加しました。終日ドピカーンの晴天。たまにひこうき雲を見上げながら、正面にはプレートテクトニクス理論生みのクルフィルシュテン(2,306m)南壁を一望に、40年ぶりの山歩きを楽しませていただきました。写真のシャッターを押してくれたアイレーネさんの企画に一同感謝いたします。女子9名、男子9名の大山行。雪上ピクニックの後、途中のレストランでビール、ワインで打ち上げ。幸せいっぱいの日が終わりました。岡田明

ハイキングルート⇒ Tannenbodenalp 出発 (1400m/AM10:30) ⇒ タンネの森の雪道Chürzにて写真撮影 (1600m/AM11:45) ⇒ 森をぬけてパノラマビューポイント (1714m最標高) ⇒ 下山⇒ Prodalpiにてピクニック (1576m) ⇒ レストランSennenstubeで打ち上げ⇒ Tannenbodenalp 到着 (PM2:45) ⇒ ZürichHBから1時間、Unterterzen下車



Schweizerisch-Japanische Gesellschaft
Swiss-Japanese Society

スイス・日本協会フィルムマチネのご案内

上映作品「もののけ姫」(1997年)

133分、ドイツ語字幕付き

原作・脚本・監督: 宮崎 駿

声の出演: 松田 洋治・石田 ゆり

田中 裕子・小林 薫 ほか

日時: 4月3日(日)

11時~(開場10時45分)

会場: Filmpodium der Stadt Zürich

Nüscherstr.11, 8001 Zürich

入場料: 無料(コレクテ)



※コロナ証明提示、マスク着用などに関しては、上映時点での連邦政府の指示に従いますので、その点ご留意ください。

※写真 Amazon Japan @Studio Ghibli・ND スイス・日本協会 <https://schweiz-japan.ch>

EVENTS & FESTIVALS

チューリッヒ近郊イベント情報

ZÜRICH-CARNEVAL-INO 2022

オミクロン規制を守りつつですが、チューリッヒのカーニバルが開催決定! プログラムの詳細はHPで。

日程: 3月4日(金)~6日(日)

www.zurichcarneval.ch

蝶々夫人 演劇版

若手演出家・作家である市原聡子氏の最新作で、ブッチーニのオペラ「蝶々夫人」をリライトしたリーティング・パフォーマン。西洋人から見た蝶々夫人という日本女性のステレオタイプを彼女の視線がどう捉えているか、面白そうです。

日時: 3月4日(金)~11日(金)

会場: Theater Neumarkt

ドイツ語、日本語、英語

www.theaterneumarkt.ch

FILMVORTRAG "TRAUMHAFTES SKANDINAVIEN"

コロナで旅行を抑えている皆さん、スイスの自然映像・写真家のChristian Oeler氏が、あなたをフィンランド、スウェーデン、ノルウェーそしてアイスランドの大自然へと誘ってくれます。

日時: 3月6日(日) 13時~16時

会場: Volkshaus www.volkshaus.ch

チケット: 大人32フラン、

20歳以下20フラン

16歳未満無料

AMADEUS 音楽劇

リギブリック劇場で2年前に行われたドイツ語であっても非常にわかりやすい舞台劇が再演されます。サリエリという、師でありながら、その才能ゆえにモーツァルトに嫉妬をする様、天才と狂気はまさに紙一重的なモーツァルト...。人間の性が小さな舞台の上で剥き出しになり、生演奏の音楽とともに客席を包みます。

日時: 3月27日(日) 18時

4月16日(土) 20時

会場: Theater Rigiblick

www.theater-rigiblick.ch

JAPAN-SCHIFF IZAKAYA

チューリッヒ湖の船で居酒屋って、まるで屋形船のようではないですか?!

日も長くなってきて、アルプスの山を眺めながら和食をつまむ...いいですね~。

3月の土曜日: 5日・12日・19日・26日

場所: Zürich Bürkliplatz

19時05分乗船、22時下船

www.zsg.ch/de/erlebnisschiffe

KETTE

Vol.156

中川 崇晴さん
(チューリッヒ在住)

お仕事は？

期間限定で主夫業をしています。妻が日本人学校へ赴任するにあたり、本業である高校の音楽教員(専門は声楽)を休職して、家族の心身の健康を守るべく日々邁進しております…していますとも…してる…筈です。

スイスに来るまでのお話

教員の仕事の傍ら、歌仲間と一緒にミュージカルやオペラ、第九のソリストとして出演など、音楽教育の一環として地域での活動をしていました。子どもの頃には父の仕事の関係で、シンガポール日本人学校に通っていたこともあり。環境が変わることが好きで、青年海外協力隊として、アフリカのジンバブエや中米ペリーの現地学校で音楽教育に携わったり、ワーキングホリデー制度を利用して、英語を母国語としない人への英語教授法(TESOL)を勉強するためにカナダで生活したりしたこともあり。

スイス生活は如何ですか？

初めてのヨーロッパ生活を楽しんでいます。とはいえ、私にとってのスイス生活は、今までの仕事とは全く違った主夫生活ですので、悪戦苦闘の日々と言えなくもないです。物価と栄養価と自分の数少ないレシビとをバランスに掛け、毎日のメニューと弁当作りに頭を悩ませています。物価が高い国だとは聞いていましたが、生活しているうちにいろいろなものが高額価格だと感じてきました。チーズが大好きなのですが、品質の割に安いと思っています。それから、オペラのチケットが日本に比べて破格の安さでびっくりしました。もちろん良い席はそれなりの値段ですが、学生のお財布

に優しい金額でもオペラやバレエが鑑賞出来るのが国の文化レベルの底上げになっているのだと感心しました。日本もこうあって欲しいです。

スイスで驚いたこと

公園のトイレの中に注射針をすてる穴があるのを見つけた時にはカルチャーショックを受けました。多くのことが自由であると同時に、自分を守るための責任と自立した精神が求められていると感じました。日常的に運動をしている人が多いことから、それが分かります。あと、金融業や保険業が発展した歴史や永世中立国の意味など、知れば知るほど面白い国だと思いました。ハイジやフォンデュだけのファンタジーランドだと思っていたらとんでもない。恐ろしく現実主義でサバイバル能力の高い国だと。



座右の銘

「人間万事塞翁が馬」です。スイスに来て1年が経とうとしていた頃に、ちょうど新型コロナが流行りだし、様々な規制が始まりましたが、これを機に考えることが増えました。残りの人生、どこに行こうか、誰と会おうか、どんな音楽を聴こうか、何を残して何を伝えようか…などなど。デメリットが多かったコロナ禍での生活ですが、不便を嘆いていても何も変わらないし、この状況をビジネスチャンスに変えた人もたくさんいらっしゃる。私も何か学びのある期間にしたいなと思って過ごしています。

スイスで困ったこと

来た当初、店員や修理業者とコミュニケーションを取ることが難しかったです。今までは、世界のどこでも英語でなんとかなると思っていましたが、この地で自分の薄っぺらな価値観が崩れました。肉屋で、修理で、思い起こせば大事なことが伝わらなくて悔しい思いをしたことはいくつかあります。生活の質を上げるには現地のメジャー言語の習得は必須ですね。そんな訳で最近では、発音だけでなく英語よりもドイツ語の方が簡単だと感じ始めています。発音だけでなく、ですけど。

スイスの良かった場所！

アルプホルンの国際大会が行われるNendazが特に印象に残っています。本場のアルプホルンとヨーデルが聴けるというので、電車とバスとケーブルカーを乗り継いで行きました。7月の終わりなのにひんやりと肌寒いくらいで、眼下に雲が流れる天空の演奏ホールといった趣きでした。100人程の奏者の合奏を聴いた時、温かくも寂しげなアルプホルンの音色と、旗振り手が投げる旗が風を切る音だけが聞こえるその場所がとても気高く神秘的に感じられ、特別な体験でした。奏者には年配の方に混じって若い人もちゃんといて、しっかりと文化が継承されているのを目撃できたのが嬉しかったです。同時に、日本の芸術文化も絶やしてはいけないと危機感も芽生えました。

会員の方へのメッセージ

実はこの3月に帰国することになりました。スイスに来なければ出会うことなかったであろう、素晴らしい方々とお近づくになれたことは、私の財産です。また、この会報誌を通じてワイナリーツアーやコンサートなど、沢山のイベント情報に触れる機会を得たことで、スイス生活が有意義なものになったことは間違いありません。私がお会いした会員の方々は、精力的で情熱的で社交的で、真に人生を楽しんでいる印象でした。短い間でしたが、沢山のことを学ばせて頂いたスイスに住む皆さんに感謝しています。ありがとうございました。またお目にかかれる日を楽しみにしています。

編集後記

2月16日水曜日は記念すべき日だった気がします。翌17日から公共交通機関でのマスク着用義務を除いたほぼ全てのコロナ規制撤廃が発表された日です。先に明かりが見えたと思ったらまた闇に戻りということはこの2年間繰り返して、身体的、精神的、経済的に大きな苦痛をもたらした新型コロナウイルスとの戦いに、「さあ、自由になろう」との連邦政府の宣言に、ついに来た~と、私はドラクローフの名画「民衆を導く自由の女神」を呼び起こして感動していました(笑)。勿論今後も感染は続くコロナに対して、スイス国民の正しい自主判断に頼る部分もある中での自由宣言です。ただここにサラッと国と国民との信頼関係が垣間見られる様な気がして、スカッと気持ちがいいんです。終わったわけではありませんが、主導権を握った感じ。甘いかな???(KC)

広告掲載のご案内

ジャパクラブチューリッヒでは、会員の方からのお知らせ・広告掲載・フライヤー等の会報同封配送を、有料(一部無料)で随時受け付けております。詳細については編集部までお気軽にお問い合わせください。

伝言板コーナーをご利用ください。

200文字以内のお知らせ・ご案内は無料で掲載いたします。掲載内容責任者のお名前(会員に限る)を入れた原稿を毎月10日までに編集部までメールにてお送りください。

*JCZでは広告・フライヤー・伝言板の記載情報については責任を負いかねます。

JCZ会報誌エーデルワイス

2022年3月号

発行責任者: 青砥 玄(会長)

編集: カンツィアーニ かほり

レイアウト: 鎌田 裕子

※編集部専用メールアドレス※

edelweiss@japanswiss.ch

チューリッヒ日本人会

JCZ Japan Club Zurich

Office of Honorary Consul

General of Japan

Färberstrasse 6, 4F 8008 Zurich

www.japanswiss.ch

jcz@japanswiss.ch

